

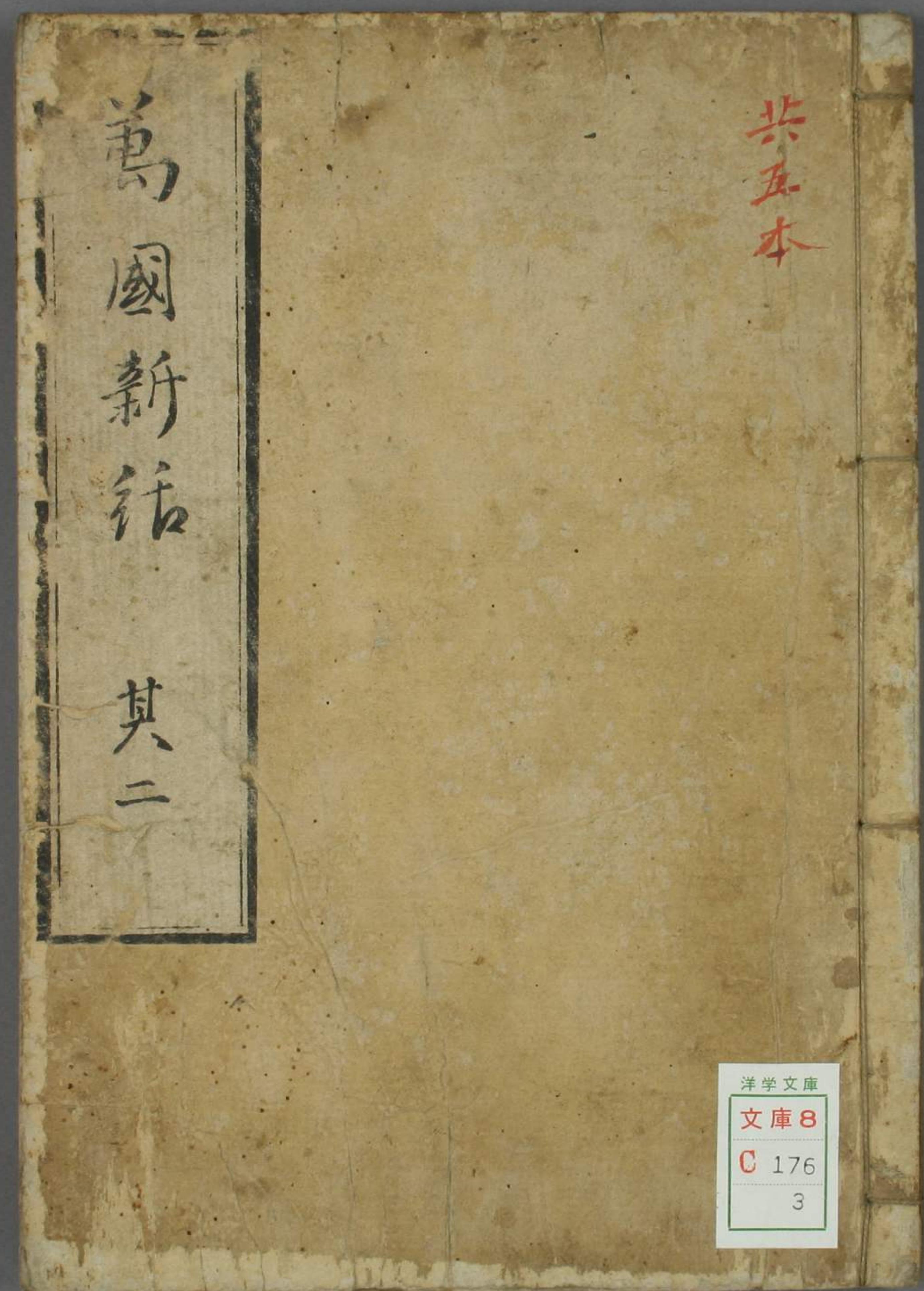
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 JAPAN

共五本

萬國新編

其二

洋学文庫
文庫8
C 176
3





萬國新詰卷之二 亞細亞之部

橋本氏
藏書印

晴保良公藏書

東都 森嶽中良 編輯



○人膽酒 占城

東西洋考ふ云。むく 占城の國王。古の越裳乃地也。秦の
象林といひ。又
區連毅といひ。時めりて人の膽を採。酒に入く是が故
まじ是と水浴。通身が膽もくとくとぞ。中良
案びる。此後ハ真臘國トク石くもく。真臘風
土記云々。毎年八月の三日。占城主人の膽十石を索。

去るみ依て古猿王。夜ごとて人と城外小出。被来の人られど。縛もて作り。身兜のめらよ。頭はあり。づくせくり。往め。小さき刀代り。而て右の脇下を裂て。縫縫取。数の足と俟て。古城王ア。償とあり。

○婚姻 同上

此國比嫁娶。かあい。八月とから。女の方より。一人比婆。門代。清。紅毛教語乃。候合を。女を。引て男の家。至。されど。婚盟手て出逢ひ。往。て是代役。とあり。

男の家。親族と。今。て宴代役。女の家。と。一人比婆。門代。清。紅毛教語乃。候合を。女を。引て男の家。至。されど。婚盟手て出逢ひ。往。て是代役。とあり。

○葬禮 同上

隨書。小曰。王死。られど。七日。百宦。三日。廢人。一日。小。不葬る。函の内。小屍と。導從人。被。と。葬。漏。水。送。よ。薪。代。後。で。屍。を。焚。其。骨。王。六。金。冕。百。友。ハ。銅。冕。廢。人。ハ。瓦。冕。又。叔。兄。妹。よ。洗。即。と。あり。葬送。の。叶。男女。皆。髮。と。裁。て。隨。もあり。

み遙りて哀かなをあく。序じょる体からハ更またアリ。是これセモ。七日あとふも残のこ花と彼かれ志しを獲と矣め。其かれかかひひ。ひひ。七日十九日十九日にて罷まわとあん。

○戸頭蠻とうとうもん 同上

星槎勝覽せいさちゆうらん 云古城の戸頭蠻ハ婦人めのアリ。瞳ひとまなこ。淫えい夜や又またアレアレ。其かれ花はな去はなりて人の穢物ごひものと食く。花はながりて複體ふくたい又またアリ。其かれ所ところを封くわドくわ。あり。之の、體からだ別べつ處しよ不ふ移いはセセ。即そく死死也や。病者びょうしゃ薦すす。條じょうも叶かなまま不ふ遭あ。妖氣ようき後ごふ入はてかああどど死死を。云々。外國竹枝詞わいこくちくし。

那堪黑夜遇戸蠻なかんくろよくむとまん

と諭しゆドト。注注よ小兒の糞失ふくしき合あつつア。此此を。以下下れ後後統とう。此國の半半小少アアレレ。固たゞ記き。児この耳みみを怪あ。太平廣記ひへいこうき 云。山嶽さんくわく南みなみの深洞ふかのう。乃の中なか小少鬼頭きとうの者もの。故ゆゑよ飛頭擦子ひとうさつし。名なあ。既既而て。人ひととと一一日前まづ。頭かぶより頂てっぺへへけて。紅べにの線せんひめく。ある筋すじもれ。妻子さいし知して。是これ看かん者しゃ守まつ。及まつで。状じょう病やう。既既忽おも身みを離はなれて去はな。も。も。岸きし泥ね。申まこと。解わか判はんの類るいを食く。曉あ。將ま。て花はな還もど。始はじ。爰あ比ひ。是これめく。其かれ後ご實じつ云。又また南方異物志なんぽういもつし。

小云嶺南の溪洞より飛頭蠻あり。其の項小赤狼り
若よ至く耳以て翼と。若ちて蟲を食ふ
ち。三才圖會云大閼婆國也中。中良業う。閼婆國ハ
𠙴姓の古名なり。云と龜首者有り。其人曉るく。頭能形よし。瀛勝
覽云ス。尾致魚と號す者、乃婦人也。其目瞳子
一。夜寢森林ハ列。頭能ぐんを亦入。小兒乃獮と
食ふ。氣小兒の腹を侵ちて死す。中畧丈夫の婦の
死ぬふる。比邑王者、眾家屬小及ぶとあり。
是ハ真臘の飛頭の事也。羸虫集云老撾國也人。占城の近國也。安
風土記小ハ甚深か。鼻水齧と飲。既死で魚を食ふ云々吾邦もハ

俗よ轆轤首ともひ。西國ゆく。拔首と。中良業云
小琅邪代醉に元の詩人陳孚なる者也。安南不
侯うち時。紀事の待あり。

鼻飲如瓶甕

頭飛似轆轤

け。一。廉恵首ハ此種ナリ。とつりうれ。予往來
相あ鎌倉遊べ。叶長谷の邊れ町家も。輪旋
首ふりと。人婦人びそく。頭よ赤き。赤あくらを
えく。何名う諭言を云か。一。若婦人
の如く。うづく。いうと。身姿も。形内のみを
あう。況あれと。此を署也。

。飛頭の物語。物志。神祇寺也。

○酒と及 同上

東西洋考ハム占城國の人。酒と甕カヒと醸マモ。熟マツめマツ候て賓主カモの壇カウガと繞マムてカウガ。三天ミツテノ内ナカニ竹筍カクシと抑マサニ入マスく。漏マツカシ次マツカシ吸マツカシす。あよマツカシ。是カクシ。氷カクシはカクシ。是カクシとカクシ。酒カクシの味カクシを止マツカシす。

とカクシ。外國カクシ竹枝カクシ詞カクシ。

三尺竹竿輪灌酒

かく酒カクシトカクシは是カクシ。

○金塔の中カクシ妖精カクシ 真臘

真臘國カクシハ占臘カクシと称カクシ。亦東補塞カクシとカクシ。占城カクシ也カクシ。

西カクシて。應帝カクシ亞カクシ属國カクシ。至大豪富國カクシ。於唐山カクシの諺カクシ。富貴無カクシ及カクシ真臘強カクシ。

とカクシ。酒カクシトカクシ。城カクシの周圍カクシ二十里カクシ。宮室カクシの美カクシ。云酒カクシと絕カクシもとカクシ。真臘風土記カクシ。宮中カクシは金塔カクシ。あり。國王カクシ。其上カクシ小卦カクシ。塔カクシのすカクシ九頭蛇カクシ精カクシ。而カクシ女身カクシ。也カクシ土地カクシの主カクシ。すカクシもカクシ毎カクシ主カクシと文媾カクシ。其妻カクシ。敢カクシ入事カクシ。而カクシ。二報カクシ後カクシ。宮カクシ帰カクシ。妻妾カクシ。同カクシ睡カクシ。也カクシ妖カクシ精カクシ。不カクシ。時カクシ。國王カクシ死カクシ。而カクシ行カクシ。也カクシ。

蕃主一ト夜付す。たちも不又災禍と獲とぞ。

○直臘の服装 同上

風土記云云。國王より以て。男女のづれも推髻ツバキを
祖褐スズカ。布を以て腰ウエストに纏マツルひ。やべとも外スモウハ猿巻
の上小一條ヒガタシナ乃大布オオヌメ。縫シナフ。此布ヌメは革階スベあり
といふ。百姓ハ女子ムダチ。此方布ヌメを用ヨウゆる物モノ也。
是も毛王の用ヨウゆるものハ直金シキン三四兩ミツリウの物モノ也。
極スルく華麗カレイ精美カミシある。是く暹羅占城スイロ・カンニョウを織ツル
代用スル。西洋ヨーロッパにて織ツル。是く上好アッホウとある。是く國
王ハ此スよ依ヨリて金冠キンクアンと戴スル。是く冠クンと加スル。

叶ハ茉莉マリの花ハナ乃花ハナと採ハサウ。縫シナフ。是くもびて擎ヒタチ
匣ハコ一頂イチヨウの上アベ。大うオハシ。珍珠ジンス三行ミツノハシ。或戴スル。足ハ
支械シケイともよ跣足ハタフタ。華夷通商考ハ・イ・ツ・シ・カウ。中シナ。貴人アリス、男女モテ
ヒ。臂アーム小金鐸スモウ・キン・ツク。或び持スル。指展シヅ・ゼン。或ハ全ゼン。或ハ小
擅鷹セン・タク。尉スル。心ハ。脚底ハ。紅レッド。茅ハシ。赤レッド。深ハシ。
少ハシ。百姓ムダチ。女子ムダチ。深ハシ。少ハシ。代许スル。

○寺小竈無スモウ・カミナシ

同上

同書小云。侈ハラハラと苧姑ハラハラ。剃髮ハラハラ。一ハラハラ。芟ハラハラ。夜ハラハラ
偏祖ハラハラ。右肩ハラハラ。腰ハラハラ。同色ハラハラ。裙ハラハラ。縫ハラハラ。是ハラハラ。
少ハラハラ。跣足ハラハラ。故寺ハラハラ。瓦蓋ハラハラ。堂中ハラハラ。紅ハラハラ。

萬國新言 卷之二
の衣と穿つ。釈迦のめに杖乃佛、威安、五色も朝
小泥赤以テ。傍より丹青と汝也塔中乃ム、
絹を以て清くもあ。鐘鼓繞鉢幢幡宝蓋
比たゞひ能くち。傍、以魚肉と妙酒、
決して飲ふ。以よ魚肉は、寺中よ厨も
竈もす。日、以余、は、厨主の事す。毎も诵
ひし本の經卷、貝葉と壘て貝多羅の木齊整よ仕
立す。上へ行ふと山也遙くと經文、紙也
文字、圓鶲字也此圓も、官府の文書たり。平日の中よ
また、麻の皮とよく似るが、八角の形
小徑いて、よくよ誠。白毫のやうやくて、あらかじ
いはれぬとす。又まへ上へ下へ書ふとも、後下へ向てちとす。

○雪隱 同上

因書ふ云土人家毎小坑と塙て溷と比。塙滿れば是
と填ま。別よ坑は塙ル。此玉せて、じききと睡ひ。而して酒
よ奪ひて既よ畢シ。池よ入て尻を洗ふ。或て不済
のすみ、たのり紙用ひ。右の手、飯と拿て吟ふ。
放り、此地へ旅泊の唐人溷よ曳りて紙と以
尻を拭拭。土人もあひ。嘲笑ふとか。中良常
小。風土記の後述院もあひ。直臘人ナホ、黒傍もあ
宮人の如きもあひ。其毛紅毛新祐よ記す。鳥鬼廁
毛のめく白毛もあひ。又紅毛新祐よ記す。鳥鬼廁
出て尻を洗ふ。余よ今を又ぞ。又右毛紙を以

ちより城池もあじ事。此後と異なり是ハ地方小
ちとて差別あり。又考るに萬國の風俗、其風俗乃
えれ、日本人の如くと多く見
る者多くあり。

○直臚人の済洗 まきよま 同上

同書より云。土地もかひし炎熱うるがねよ土人曰く
城浴シヨウヨク。浴室。盂桶の如有事か。家くよ
池と堀り。男女いづれも裸形みて池中又入。婦人
たすきて牡門と渡のこすれども父母うるび
う年人池は在ぞ。子女早幼、斟酌スミキて敢て入
も。子弟の池は在ぞ。高年の人シモも亦おさ。或時ハ

城中の婦女三五五をて。城外の河邊シヨウヘンより至り。裸小缠マタニふ
布を脱去。水中に入て済洗シヨウヨク。踵ヒヅカ一頂ヒヅカよけ。うそ
うそも傍カタにあか。動カタれど共人シモ數千人シモは
數ふべ。内シキ府第の婦女も文シモと云。庶人
此地よ旅宿リョクサクをシモ者。されど以て遊観の來シモとす大
抵株外の大河シヨウヘン。日ヒとヒてげシモあシモすシモか
とシモ。向シモあシモ湯ヨウ小走シモて湯ヨウのめ。唯五更の頃
微シモしく冷ヒヤキ少シモれども日出ヒギよふれ。又温ヒヤキよふれ。是
土人交際シモの法也。又入シモ済洗シヨウヨク。廻シモすや。亦池シモ入シモ休活シモす
か。病シモ者多く。麻シモ毒シモ人シモもシモ。

○送葬 同上

同書にて云人死ひれど。羞席のれを以て包ふ。布
とりつて是と蓋ふ。故斂葬比叶ハ旗幟とて。
輶樂もて送る。送るもて米の炒り豆を拋撒もと
シ。又うり城外の人烟もれくす所よ多き。死者を
引出一て其不よ棄れ。大嘗のたゞ群臣來
て。忽よ食ひ盡る子弟あれと見て候て。之く
父兄生者も病あらうか。此善報を定と
念すれど愁て。そらく。前世の罷滅せらが望
此惡報と文と。のべて忌後は制ある。か
男子ばかりの毛代髡。女子ハ額門の髪と有る。

義の大め。是と以て孝と見る。

○陣簇 同上

同書玉云土人女子を産む。父母あれと祝うて
いふ。射りハ汝将来。千百人の丈夫より見ゆる
を要せよと。いさか。些少の婦人至く多也。富室の女、
七才より九歳と限。而貧家。の女、十一歳とて。15
とて。傷成清ド。道きとて。童身。とも。も。官司。
每年四月以内一日と擇みて。陣簇の日と定ひ。は較
を行ひと欲む。多う。友同。死ひ生れ。も。笑ひの

あひて、此種物の年一歳よりて、女子の十
歳より乃づきまで、必ずばつらう。まことに金銀を擲て
彼女の陣船を助力する人あり。是莫大の事也。
かくとゞは結の日、祝儀、迎席と集て、大に
宴が設け。薰^{スミ}眞^{マサ}小^{コトハ}、轎^{カツブ}金^{カネ}を調へ。鼓樂^{タムラ}
て酒を述べ。夜中緑帛^{グロウモク}を移し、二脚と
役く一御^{ミテ}、足もろちぬけ、むせり^{ムセリ}め、一脚、
走せり。史^{シテ}、行客^{キハシ}鼓樂^{タムラ}にて酒と酌む
し。巨燭^{カヤウツ}の火刻画の不^トよるれ、行女と娘^{カヤ}よ房^{カヤウツ}
入^{カタ}。紙以^テき水^{ミツ}と毛^モとす。室^{ムロ}、文^{ムロ}構^{ムロ}也。

ソト。華人。ヨリ。多。紙。由。シ。レ。ジ。シ。モ。ト。洋。
エ。セ。ト。ト。モ。カ。ハ。其。シ。ム。ト。瓦。テ。酒。ノ。酒。父。母。親。族。
シ。ル。ト。額。上。シ。然。ド。或。ハ。ロ。ブ。シ。富。シ。ト。モ。ソ。フ。
天。ま。キ。ヨ。リ。シ。ム。ト。モ。カ。ア。ウ。カ。ヒ。ス。近。奉。シ。ヨ。ル。
叶。の。め。く。シ。ル。ト。シ。メ。テ。信。ト。寺。オ。又。送。シ。國。
他。日。女。の。兩。叔。布。帛。の。れ。ト。調。シ。彼。信。の。洋。一。行。
宿。は。家。代。贖。シ。た。も。キ。小。シ。モ。ハ。生。涯。他。將。も。半。河。
省。と。か。陣。終。の。前。ま。で。ハ。女。子。代。支。叔。の。傍。ミ。計。定。
床。終。ト。後。ハ。房。の。外。ハ。伏。志。め。ん。の。儘。シ。男。子。ハ。接。
ハ。急。シ。嫁。娶。ハ。叶。納。幣。の。式。ウ。イ。ト。ソ。モ。シ。ル。

甚。簡。易。ア。リ。ア。リ。タ。リ。多く。女。嫁。シ。テ。後。娶。シ。ト
ア。リ。陣。穀。の。女。ハ。一。巷。の。中。小。十。軒。修。シ。有。リ。ア。リ。シ。
修。乃。士。成。遠。シ。人。教。系。行。西。行。又。交。錯。較。樂。の。女。
處。ト。シ。テ。サ。ド。リ。ア。リ。ト。モ。中。良。妻。系。三。才。
圖。會。小。載。シ。況。ハ。少。ア。ラ。遠。シ。リ。女。嫁。シ。テ。九。歲。ヨ。ア。ラ。仲。
即。修。経。清。シ。修。經。シ。ト。補。ド。梵。法。シ。ト。化。持。經。シ。ト。空。
神。シ。ト。桃。損。シ。 寺。持。良。庵。が。和。漢。三。方。會。に。文。有。リ。テ。ソ。シ。の。事。を。
桃。損。シ。而。ヒ。ト。訓。シ。有。リ。ハ。後。リ。ア。ル。色。ハ。名。目。ナ。ル。

キ。モ。シ。モ。少。ア。ラ。遠。シ。其。紅。シ。取。シ。額。小。兵。ド。母。モ。キ。額。
ニ。迄。モ。喰。シ。利。布。ト。云。此。說。シ。シ。シ。シ。ハ。逃。シ。
小。似。シ。リ。利。布。ハ。暹。羅。國。シ。增。財。の。休。リ。シ。リ。四。

もぐく半も似たり。利市と陣綱（ジンノウ）と混（ハシル）る
事（モノ）。次第も退置四壁（シキ）の
外國竹枝絪（タケチイ）の注。東西洋考鏡此
況（カク）これも陳綱と利市とハ異（ヨリ）。

○產婦 同上

同書焉云。婦人出産の後（アマギ）。熟飯（アマギ）、辛味（キニヤ）、
戸の内（スル）は納（スル）。一昼夜もまじて除き捨（スル）。かくさうが小。
產後忽平日（ヒラヒ）のめく。之上廈門收斂（スル）。多産の婦人
も常小室女のめくとす。周達觀（スル）。元の世の人真臘墨
ナリ。是成疑ひ（スル）。後彼云にあり。叶。旅宿セ
一あの婦人。家中子成産也。次日小あり。產所の

嬰兒と抱き。小隣の婦女と但よ。河ふ澡洗（スル）。代
えて。始て產婦の母病（モツビン）。代知（スル）。也。此
國の婦人ハ多臨（スル）。產後一月もぐれバ。半月も
丈と交合（スル）。また連床不の丈丈虛弱（スル）。而毫
と忍（スル）。す。中らすれど。妻の方より男成又崩（スル）。
決絶（スル）ともよい。と。を。嫁（スル）。も。ゆ。そ。み。り。
よく。育（スル）。よ。け。や。き。小。娘（スル）。を。れ。裏（スル）。
事（モノ）も亦。よ。三十歳の婦人ハ唐山（カウ）。年。四五十
歳の女子比（スル）。と。

○兄弟交合也 同上

同書云。東門の裏に住むる人。その妹城犯に
よみがれ。皮肉粘て離れず。三月を歷くたけ
とあり。吾邦伊勢の神領ノモ。櫻木守の城
在也者。かゝる神罰を受す事あり。思ふべし。

○天獄 同上

同書云。爭松の曲直城。毎年冬の候は。城
中か十二庄の石の塔なり。公事人の告人被告を
一人此塔の中に。内に。兩者に。犯屢々。不
被隄防。ひしがくして一二日。あく。ひ三四日の間。
犯をもつと。オ乃申。中か。廢帝。を奉ら。う。嘆歎

う。墮。高城村附。附。山。山。と。後。理。う。の。者。ハ
纖。も。か。未。か。一。ち。城。以。御。而。と。判。斷。是。と
名。づ。け。て。天。獄。と。云。

○鷹城探

同書には。人家物。城。失。ふ。叶。ま。と。而。く。盜。も。ん
と。ぞ。よ。人。を。坐。す。ま。よ。其。寔。否。公。明。あ。く。ま。叶
ば。城。よ。波。城。佛。一。そ。人。を。く。て。多。城。伸。て。探。す
あ。ひ。盗。す。り。人。六。た。ち。不。よ。腕。脣。探。す。人。六。
皮。肉。り。の。み。一。と。も。く。吾。邦。の。探。湯。小。似。す。

○史文 同上

國書に云。此國齊氏禁タカシマ也。支口ハサウエ入る時ハ
紫タキシ二ニ小。支文ハサウエの足ハシを狹スリムて是シを継スル。又痛アツコト忍テバ
之ハシを姦ハナシ資材ハサツザイを出ハサフして正支ハサウエ小ニあハれ
バ納ハサフ得ハセバしてゆハシもとハシモトあり。是國主ハサウエの制禁ハサシム。

○牛ウシ啖ハサフノ

國書云。馬ウマハ。矮ハサクくハサクて小ハサミ。牛ウシハ。莫ハサミ々ハサミく
生ハサシ。若牛死ハサシ。敢ハサハサて其肉ハサミ食ハサフ。又敢ハサハサて
之ハシを剥ハサハサ。只ハサシのまハサミ小ハサミ腐ハサミ糊ハサミセハサフし。而包ハサフ。
ソケモ味ハサシ。人ハサシと輿ハサミよ力ハサミを出ハサフ。おかハサミ。

○華人ハサウエ臘ハサミ上逃ハサフ。

國書云。此臘國中衣裳械着也。之ハシの上米穀求
易ハサシ。婦女ハサウエ也。屋室造ハサフ易ハサシ。家用足易ハサシ
く。買賣ハサシ亦ハサシ。水主ハサウエの唐人ハサウエ一
逃ハサフ者多ハサシ。

○楊枝ハサミ 同上

墮書云。直臘人ハサウエ。每旦澡洗ハサフ。楊枝ハサミ以ハサシく
齒ハサミ。清ハサシ。經文ハサフ。後ハサシ。保ハサミ。酒ハサミ。
支ハサシ。食ハサシ。紙食ハサミ。以ハサシく。楊枝ハサミ。墨ハサミ。筆ハサミ。

○婦人ハサウエ智多ハサシ——ハサミ羅ハサミ

東西洋考ム曰。暹羅ハいアリ。赤土モ。婆羅刹モ。地也アリ。暹羅船ハ、時モ海モで長モ。此モの婦人ハ、志量男子ハ、小モ大モ。故モ、公ハの政事アリ。自余の子モにアる。悉く婦人ハ、計ス。其裁決ハ、威ス。とアリ。婦人ハ、代モ、旅泊モの華人モ、そんモ。も是城モ。置酒モ、款接モ。留宿モ。タモ御モ。フモ、主モ、林モ。アリ。アリ。アリ。竹枝詞モ。女兒斷事モ。男兒聽モ。偏愛華人モ。夜々嬌モ。とアリ。同書の注ム云。華人モを愛ムる婦人の丈モ。さうも少シよク。君畫美アリがアリ。

中國モの人モ、喜愛モるト、人モやシるト。

○陽物モ七寶モ成モ飴

五三學編モ。おもひ外國竹枝詞モの注ム云。男子年二十歲の時。陽物モ割スて金銀珠玉モ、財モあら。華成モて封ト。さも象嵌モ入ス。とアリ。行ハ、鏗モとアて、交アうト。又三才圖會モ云。男子幼モり、肉物モ割スて八宝成嵌モ。一派く富貴小街モ。女モ、女モ。女モとアて妻モ。二元モして、異同モ。中良業モ。南亞墨利加洲モ。中の字露路モ。國モ人モ珍寶モ以テ面モ。小山故モと表裡モ。

の後も。

○鳥葬 因上

東西洋考み云。貴人死シテ、葬シテ、求シム、以シテ灌シム。高埠シラカミ、葬シテ、塔タツマツを建蓋シテ、をふも。貪家ハ、鳥葬シラカミ、モ、竹枝祠シラカミノミコトの注シテ、人ヒト、死シテ、バ、戸ドア、と、將シテ、海シマ、至シテ、大カ、摶シテ、のめくらモ、モ、食シム、アモ。其修骨ハ、ことく、くく、海シマ、中ニ、棄シム。されば、鳥葬シラカミ、と、ソム、と、スルヤ。

○暹羅國の婚禮 因上

同書アガシ、云、婚禮ハ、生ハ、まハ、ち、祥シラカミ、婚シテ、禮シテ、女ハ、

家シテ、至シテ、傳シテ、女ハ、の、紅シロ、代シテ、小シテ、愁シテ、モ、と、り、て、吉祥シテ、と、云シム。竹枝祠シラカミノミコトの注シテ、傳シテ、女ハ、の、喜紅シロ、代シテ、討シテ、男ハ、の、家シテ、に、薦シテ、モ。あれ、と、名づケ、テ、利市トシマチ、と、し、と、し、と、し。上の、後シテ、と、つ、と、つ、と、返シム。

○聖鉄 因上

此國ハ、人ヒト、性セイ、勁キク、悍ハム、て、水戰シテ、代シテ、若シム。大シテ、將シテ、人ヒト、の、脣シラカミ、と、ら、つ、め、と、身ヒト、戎シテ、裏シテ、毛シテ、シテ、猶シテ、聖、兵シテ、用シテ、聖鉄セイテツ、と、鐵シテ、と、し、是シテ、と、名、号シテ、聖鉄セイテツ、と、し、方矢カタヤ、と、行シテ、い、と、云シム。星槎セイザ、勝覽セイリョウ、小シテ、曰シム、梓シラカミ、の、木ハ、と、別シテ、櫟鎗シラカミヤシ、と、仰シテ。水牛皮シラカミ、代シテ、腰シテ、と、んシテ。

標鎗ハ此近國。真臘。占城。ともちり。中良嘗く聞り。既而よゆる。

暹羅人。畫船。華船。物。伐。木。水。也。之。又。よ。あ。ヘ。ア。レ。ハ。父。翁。を。持。テ。海。底。水。灣。船。底。破。ア。レ。其。性。の。猿。獰。う。と。水。綠。よ。熟。ア。レ。ハ。是。伐。リ。ウ。テ。知。ベ。

右占城。直。臘。暹羅。の。三。國。ハ。應。帝。亞。の。屬。王。一。古。中。華。入。貢。地。か。イ。地。方。唐。土。の。西。小。安。息。イ。花。蓮。的。印。拿。ニ。西洋。東洋。記。行。の。重。書。名。氏。書。日。ト。ち。も。紅。毛。人。の。說。話。ア。レ。ト。シ。ド。モ。ア。ヌ。ア。ル。の。珍。祕。を。傳。ス。ル。ハ。吉。テ。シ。

華人の。既一二。被。拾。ひ。て。走。業。の。看。ア。呈。呈。呈。呈。而已。

明治。セ。六年。六月。紫。原。氏。ヨリ。承。マ。

立冊之內

尚古堂

鶴本氏